

事業所名

放課後等デイサービスOasis αある心あ

支援プログラム

作成日

令和6年

9月

1日

法人（事業所）理念		子どもの発達の支援及びこれに携わる人材の育成を通じて将来を担う子どもの健全な育成を図るとともに一人一人が自立した社会生活を営むことができる社会の実現を目指す。											
支援方針		日常生活・社会生活を総合的に支援するために自立に向けての適応能力を身につけていく。											
営業時間		平日	9	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土・長期休暇	8	時	30	分から	17	時	30	分まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の維持・改善・生活リズムや生活習慣・基本的な生活リズムの習慣・食育・時間 ・体温測定や表情を見て気分把握（心身の健康チェック） ・睡眠・食事・排泄等の基本的な生活リズムを身につける。 ・調理実習で食育・調理の仕方を身につける。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢保持・基本的技能の向上・身体移動能力・視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有感覚・前庭感覚 ・ストレッチ・ラジオ体操を行う。 ・バランス感覚では飛び石・バランスストーン・スラックウォール・バランスボール・タンポリン等を活用 ・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行う。 ・音楽に合わせて体を動かしリズム感覚や動く・止まる等静と動の動きを取り入れ感情コントロールを養う。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○課題対応能力・認知の発達と行動の習得・空間・時間・数量・大小・色の概念形成の習得 ・活動前には日付・天気の確認・健康観察を行う。 ・時計やタイマーを活用し見通しを持たせた支援で気持ちの切り替えをし感情コントロール力を身につける。 ・ブロックや形・絵カード等を使い知覚推理療育を行う。（空間認知力・距離感） ・ペア活動・小集団でのゲームを行う。（ルール認知や適切な行動形成） ・公園・ウォーキング等体力づくりや季節の移り変わりを感じる。 											
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○言語の形成と活用コミュニケーションの活用空間・時間・数の概念形成・人間関係形成・社会形成能力 ・朝の会では体調・気分を報告し、帰りの会では一日の振り返りを通して、自己表現力を高めている。 ・活動の説明・ルールの理解をわかりやすくシミュレーション。絵カードを活用する。（視覚化） ・個々の特性に応じて読み書きは個別対応した支援を行う。 											
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○アイスマイル・他者との関わり・仲間づくりと集団参加・人間関係・社会性・自己理解・自己管理能力・理性のコントロール ・SST療育では、ペア活動・小集団に分かれてチーム戦を行うときは、リーダーを決め役割分担のある活動を通して他者との関わり方や自己責任能力を高める。 ・公共交通機関を利用しルール・マナーを身につける。 ・就労支援として、企業と連携を図り、職場見学・体験等を行う。 ・パソコンや軽作業等就労に向けてより実践的な支援を行う。 											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家族が子どもの特性や、家族からの相談に対する特性を踏まえた子どもへの関わり方を適切な助言等をして情報共有できる場を提供している。（居宅訪問による相談支援・事業所内相談支援） ・年齢とともに変化する発達課題や思春期の課題を乗り越えるため、兄弟を含めた困り感に寄り添いペアレントトレーニングを行う。 ・アタッチメント（愛着）の安定 					移行支援			<ul style="list-style-type: none"> 就労・進学に向けて、必要な知識・技能を習得するための支援を行う。 ・作業トレーニング 丁寧さ・確実さのスキル向上 巧緻性を養う（切る・貼る・折る・塗る・結ぶ・巻く・通す・丸める・包む・ちぎる） 社会性を高める。 買い物体験を通してお金の概念や価値観を身につける。 自分から連絡・報告ができる。 コミュニケーションスキルを高める。 ※就労支援として、各会社に見学・体験に取り組んでいる。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と情報共有し、子どもの心身の状況や生活環境の把握をしながら支援の統一をはかる。 ・通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援。 					職員の質の向上			<ul style="list-style-type: none"> スタッフスキルアップの為に各研修に参加している。 職員同士の報連相を意識して支援に対してのケース会議を行い支援プログラムや個別支援計画に沿った支援内容を考えている。 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・一年を通して季節に合わせた行事・他社事業所との交流・三社合同交流・保護者のランチ交流会 他 											